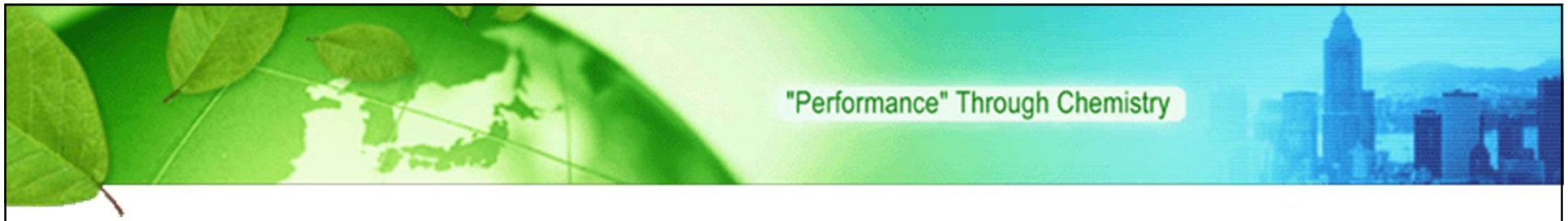


2018年度
決算説明資料

三洋化成工業株式会社

https//:www.sanyo-chemical.co.jp/

コード番号：4471

Sanyo Chemical

Performance through Chemistry

＜注意事項＞

この資料に記載している金額は表示単位未満を切り捨てで、
その他、比率等は表示単位未満を四捨五入しております。

＜免責事項＞

この資料には、2019年5月15日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測等が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動・原料価格の動向等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

＜IRに関するお問い合わせ＞

三洋化成工業株式会社
コーポレートコミュニケーション本部
メディア・IR部
E-mail : pr-group@sanyo-chemical.group

会社概要

創　　立：1949（昭和24）年11月1日
本　　社：京都市東山区
資 本 金：13,051百万円
国内営業所：東京、大阪、名古屋、広島、福岡
国内工場：名古屋、衣浦、鹿島、京都、川崎（サンケミカル）
従業員数：2,078名（連結）[2019年3月31日現在]
事業内容：約3,000種のパフォーマンス・ケミカルス
（機能化学品）の製造・販売

三洋化成グループ

三洋化成グループ

●連結子会社：13社
○持分法適用会社：5社

国内関連会社（5社）

●SDPグローバル㈱
●サンノプコ㈱
●サンケミカル㈱
●サンアプロ㈱
○㈱サン・ペトロケミカル

海外関連会社（9社）

●三洋化成精細化学品（南通）有限公司
●三大雅精細化学品（南通）有限公司
●三洋化成（上海）貿易有限公司

●Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.

●SANAM Corp.
●Sanyo Chemical & Resins, LLC
●Sanyo Chemical Texas Industries, LLC
○Sunrise Chemical LLC

●SDP GLOBAL (MALAYSIA) SDN.BHD.

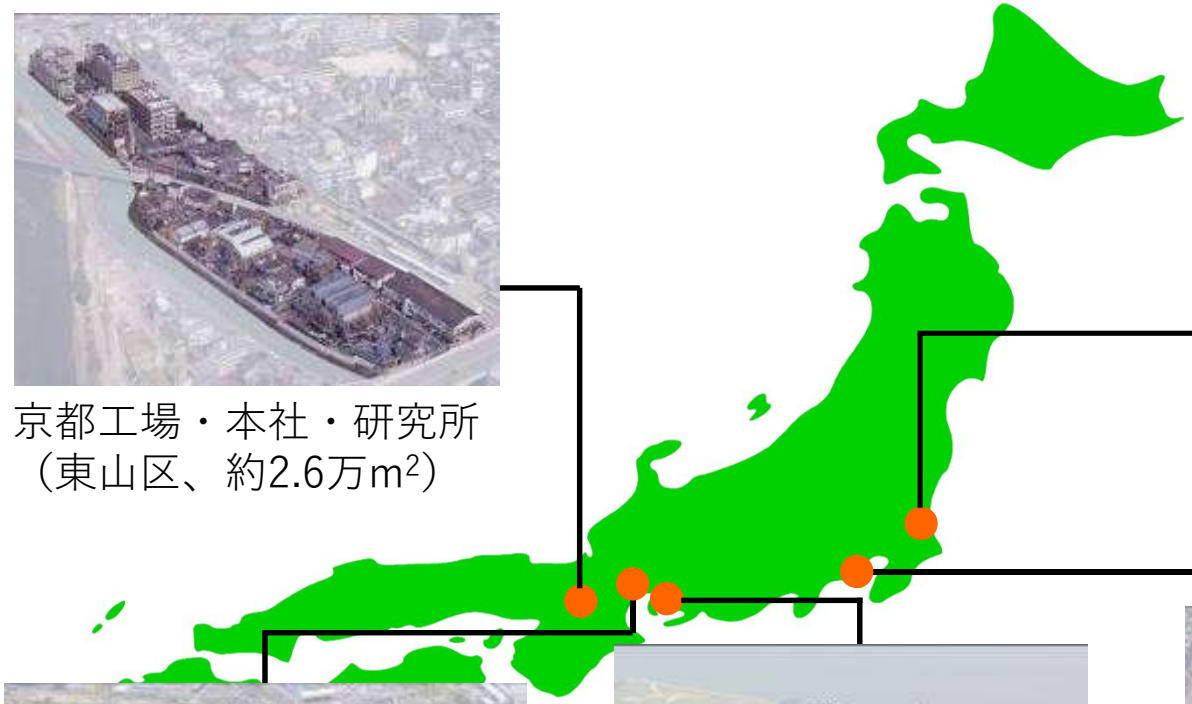
物流・サービス関係会社（4社）

●三洋運輸㈱
○名古屋三洋倉庫㈱
○塩浜ケミカル倉庫㈱
○㈱サンリビング

その他の子会社・関連会社：

韓国三洋化成（株）
台湾三洋化成股份有限公司
SAN NOPCO (KOREA) LIMITED
韓国三洋化成製造（株）
APB（株）
SAN NOPCO (SHANGHAI) TRADING Co., Ltd.
DAXIANG INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) Co., Ltd.

国内生産拠点



京都工場・本社・研究所
（東山区、約2.6万m²）

鹿島工場
（茨城県神栖市、約13.0万m²）

名古屋工場
（愛知県東海市、約10.0万m²）

衣浦工場
（愛知県半田市、約14.0万m²）

サンケミカル　川崎工場
（神奈川県川崎市、約1.1万m²）

海外生産拠点

三洋化成精細化学品（南通）有限公司

三大雅精細化学品（南通）有限公司

Sanyo Chemical & Resins, LLC

韓国三洋化成製造株式会社

SDP GLOBAL(MALAYSIA)SDN.BHD.

Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.

Sanyo Chemical Texas Industries, LLC

海外営業拠点

三洋化成(上海)貿易有限公司
SAN NOPCO (SHANGHAI) TRADING Co., Ltd.
DaXiang International Trading (SHANGHAI) Co., Ltd.

韓国三洋化成株式会社
SAN NOPCO (KOREA) LIMITED

Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.

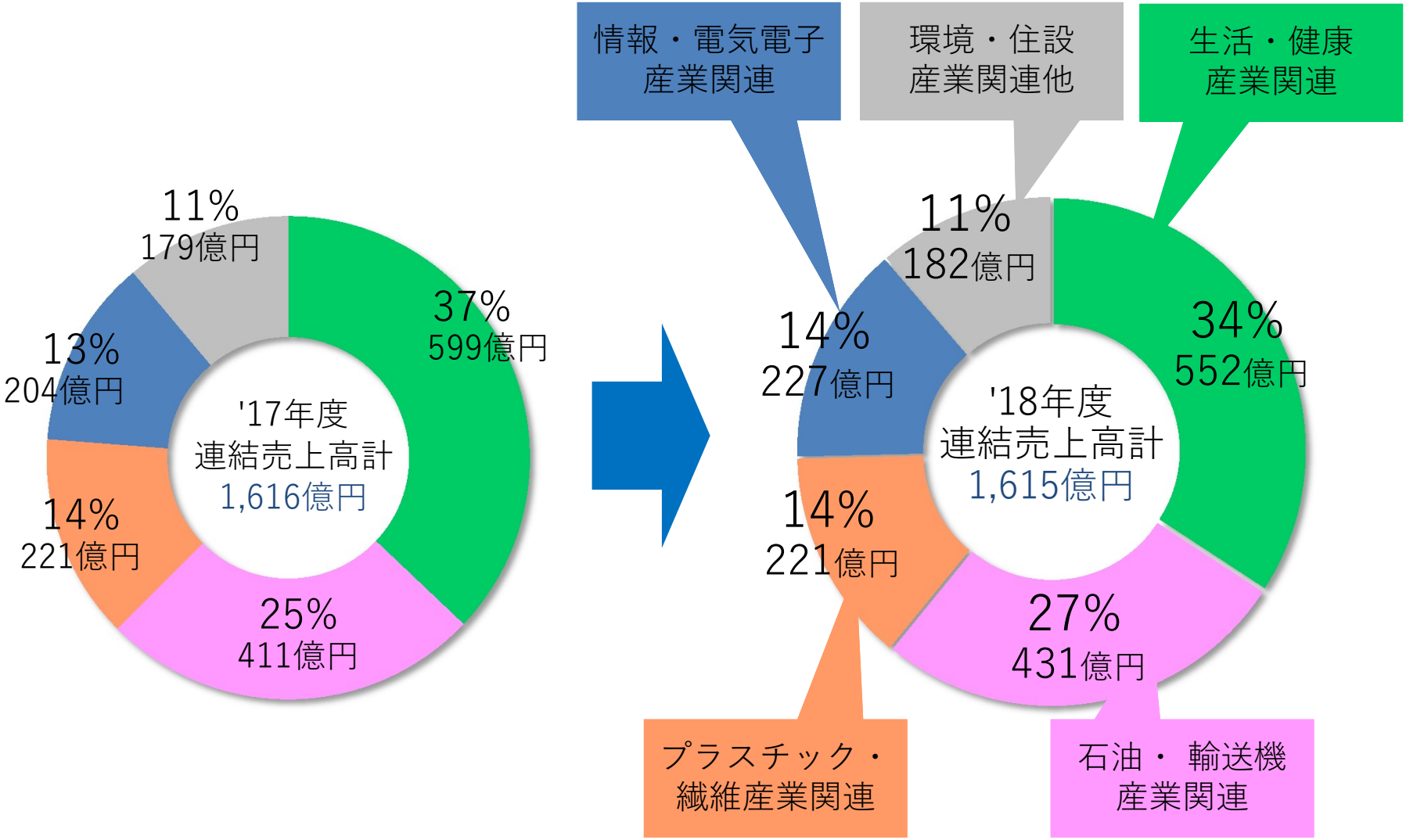
台湾三洋化成股份有限公司

SANAM Corp.

産業分野別主要製品

大分類	中分類	主要製品
生活・健康産業関連	生活産業関連	洗剤・洗浄剤用界面活性剤、ヘアケア製品用界面活性剤、製紙用薬剤
	健康産業関連	高吸水性樹脂（SAP）、医薬品原料、殺菌消毒剤、外科用止血材、EIA（酵素免疫測定法）用臨床検査薬、人工腎臓用ポッティング材
石油・輸送機産業関連		自動車内装表皮材用ウレタンビーズ（TUB）、ポリウレタンフォーム用原料（PPG）、潤滑油添加剤、燃料油添加剤、水溶性切削油、非ハロゲン系洗浄剤、合成潤滑油ベース、デザインモデル製作用盛り付け樹脂、自動車塗料用樹脂
プラスチック・繊維産業関連	プラスチック産業関連	永久帯電防止剤、顔料分散剤、樹脂改質剤、塗料用樹脂、消泡剤、ポリウレタンエラストマー原料、モデル製作用合成木材
	繊維産業関連	繊維製造用薬剤、炭素繊維用薬剤、ガラス繊維用薬剤、人工皮革・合成皮革用ウレタン樹脂
情報・電気電子産業関連	情報産業関連	重合トナー中間体ポリエステルビーズ（PEB）、トナーバインダー
	電気電子産業関連	アルミ電解コンデンサ用電解液、電気二重層キャパシタ用電解液、電子材料用粘着剤、電子部品製造工程用薬剤、UV・EB硬化樹脂
環境・住設産業関連他		廃水処理用高分子凝集剤、カチオンモノマー、家具・断熱材用PPG、泥水用薬剤、反応性ホットメルト接着剤、建築シーラント用原料、セメント用薬剤

連結産業分野別売上高構成

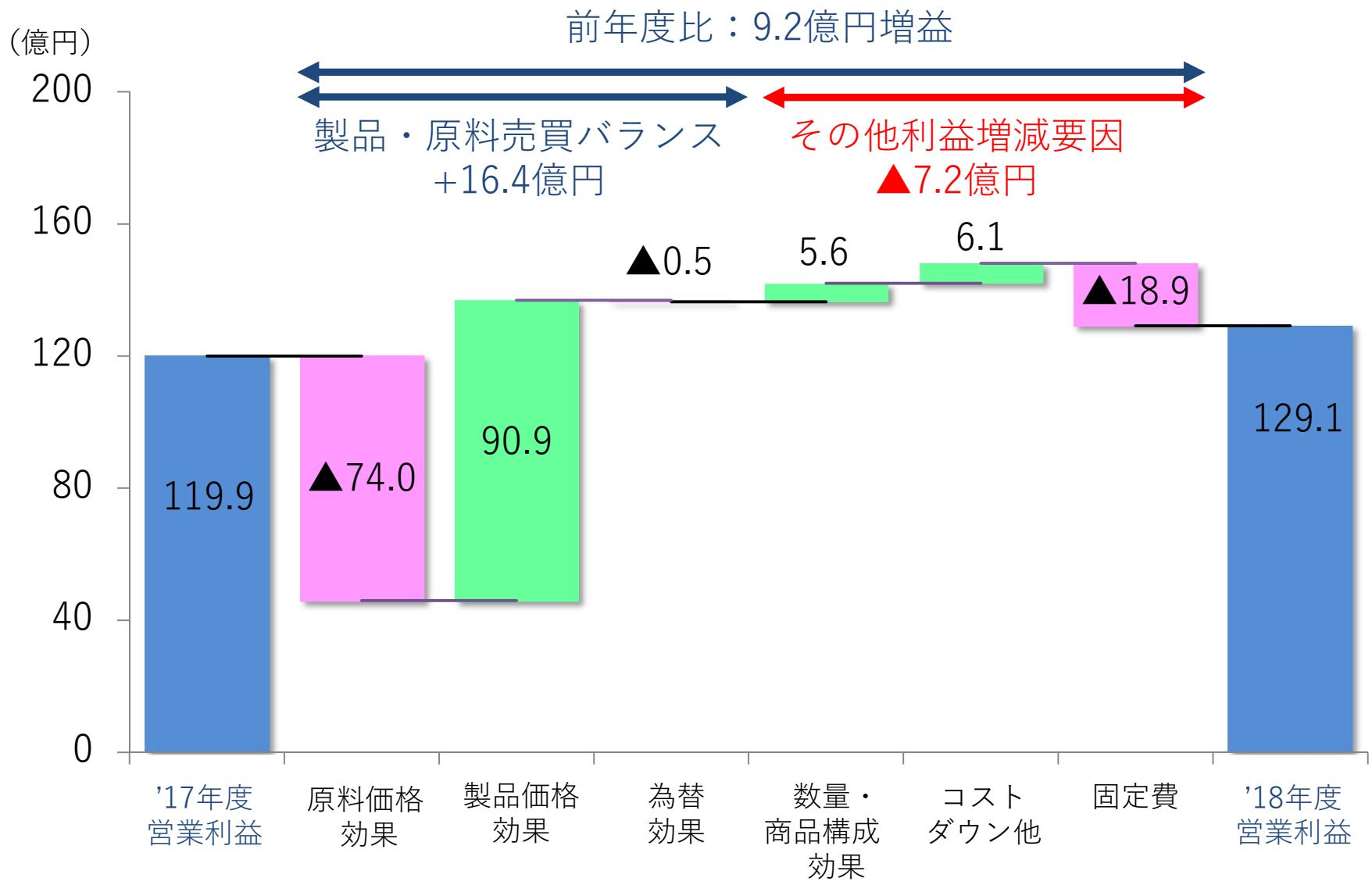


’18年度業績

（億円）

連 結	’17年度	’18年度	前年度比	
			増減額	増減率（%）
売上高	1,616.9	1,615.9	▲0.9	▲0
営業利益	119.9	129.1	9.2	8
経常利益	138.6	152.0	13.3	10
親会社株主に帰属する当期純利益	92.7	53.4	▲39.2	▲42
包括利益	113.5	▲7.6	▲121.1	－

連結営業利益の前年度比増減要因



連結純利益の前年度比増減要因

（億円）

	’17年度	’18年度	増減額
営業利益	119.9	129.1	9.2
持分法投資損益	8.3	13.0	4.7
為替差損益	2.2	2.4	0.2
その他営業外損益	8.1	7.2	▲0.8
経常利益	138.6	152.0	13.3
固定資産売却損益、除却損	▲10.4	▲8.2	2.1
投資有価証券売却益、評価損	―	24.1	24.1
減損損失	―	▲87.9	▲87.9
その他の特別損益	▲6.7	▲4.5	2.2
税金等調整前当期純利益	121.4	75.4	▲46.0
法人税等	▲27.7	▲47.5	▲19.7
非支配株主に帰属する当期純利益	▲0.9	25.6	26.5
親会社株主に帰属する当期純利益	92.7	53.4	▲39.2

連結貸借対照表

（億円）

	2018年3月31日	2019年3月31日	増減額	主な増減要因
流動資産	889	950	61	現金及び預金（17）、受取手形及び売掛金・電子記録債権（5）、たな卸資産（42）
固定資産	1,102	985	▲116	有形固定資産（▲75）、投資有価証券（▲47）
資産合計	1,991	1,936	▲55	
流動負債	501	525	23	買掛金・電子記録債務（▲26）、短期借入金（35）
固定負債	127	84	▲42	長期借入金（▲19）、繰延税金負債（▲15）
負債合計	629	610	▲19	
株主資本	1,150	1,178	27	当期純利益（53）、配当金支払（▲25）
その他包括利益	150	115	▲35	その他有価証券評価差額金（▲33）
非支配株主持分	61	32	▲29	
純資産合計	1,362	1,326	▲36	
負債･純資産合計	1,991	1,936	▲55	

2018年度第1四半期の期首より、税効果会計に係る会計基準の一部改正を適用しております。
このため、前連結会計年度に遡って適用しております。

連結キャッシュフロー計算書

（億円）

	’17年度	’18年度	増減額	特記事項
営業活動CF	157	146	▲11	
税金等調整前純利益	121	75	▲46	
減価償却費	83	91	7	
減損損失	－	87	87	
持分法投資損益	▲8	▲13	▲4	
運転資金の増減	▲15	▲73	▲58	
法人税等	▲31	▲28	2	
その他	6	6	0	
投資活動CF	▲141	▲113	28	固定資産の取得 ’17：▲130　’18：▲115
フリーCF	15	32	17	
財務活動CF	▲73	▲14	58	借入・返済 ’17：▲45　’18：13
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	▲0	▲0	
現金及び現金同等物の増減額	▲57	17	75	
現金及び現金同等物の期首残高	231	173	▲57	
現金及び現金同等物の期末残高	173	191	17	

’19年度業績予想について

＜業績予想の前提条件＞

国産ナフサ価格：48千円／kl、為替レート：110円／ドル

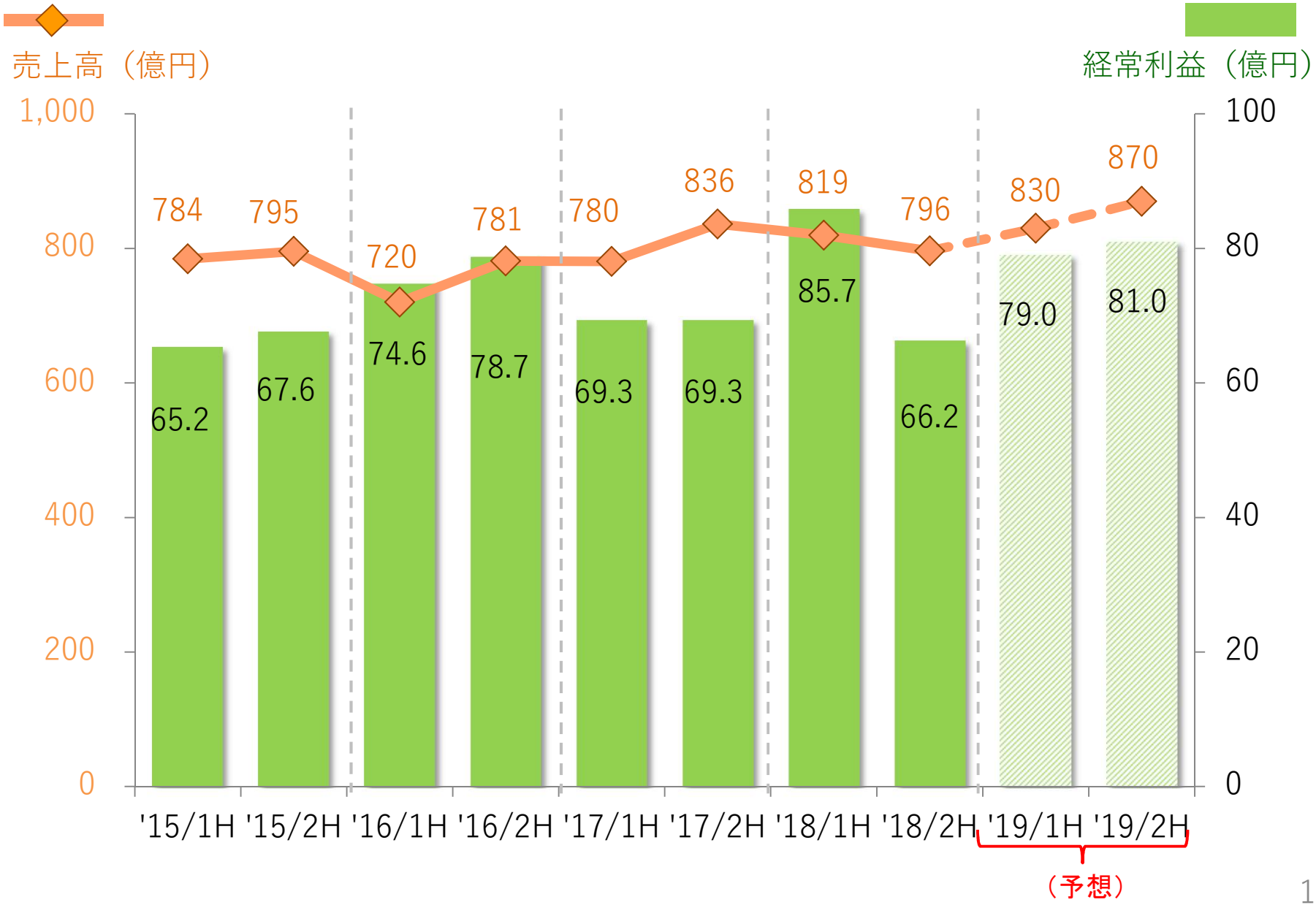
（億円）

連 結	通 期			第2四半期（4-9月期）		
	’19年度予想値	’18年度実績	増減率（%）	’19年度予想値	’18年度実績	増減率（%）
売上高	1,700	1,615.9	5.2	830.0	819.5	1.3
営業利益	145	129.1	12.2	71.0	67.9	4.6
経常利益	160	152.0	5.2	79.0	85.7	▲7.9
親会社株主に帰属する当期純利益	105	53.4	96.4	52.0	59.4	▲12.6
ROE	7.8	4.1	＋3.7pt			

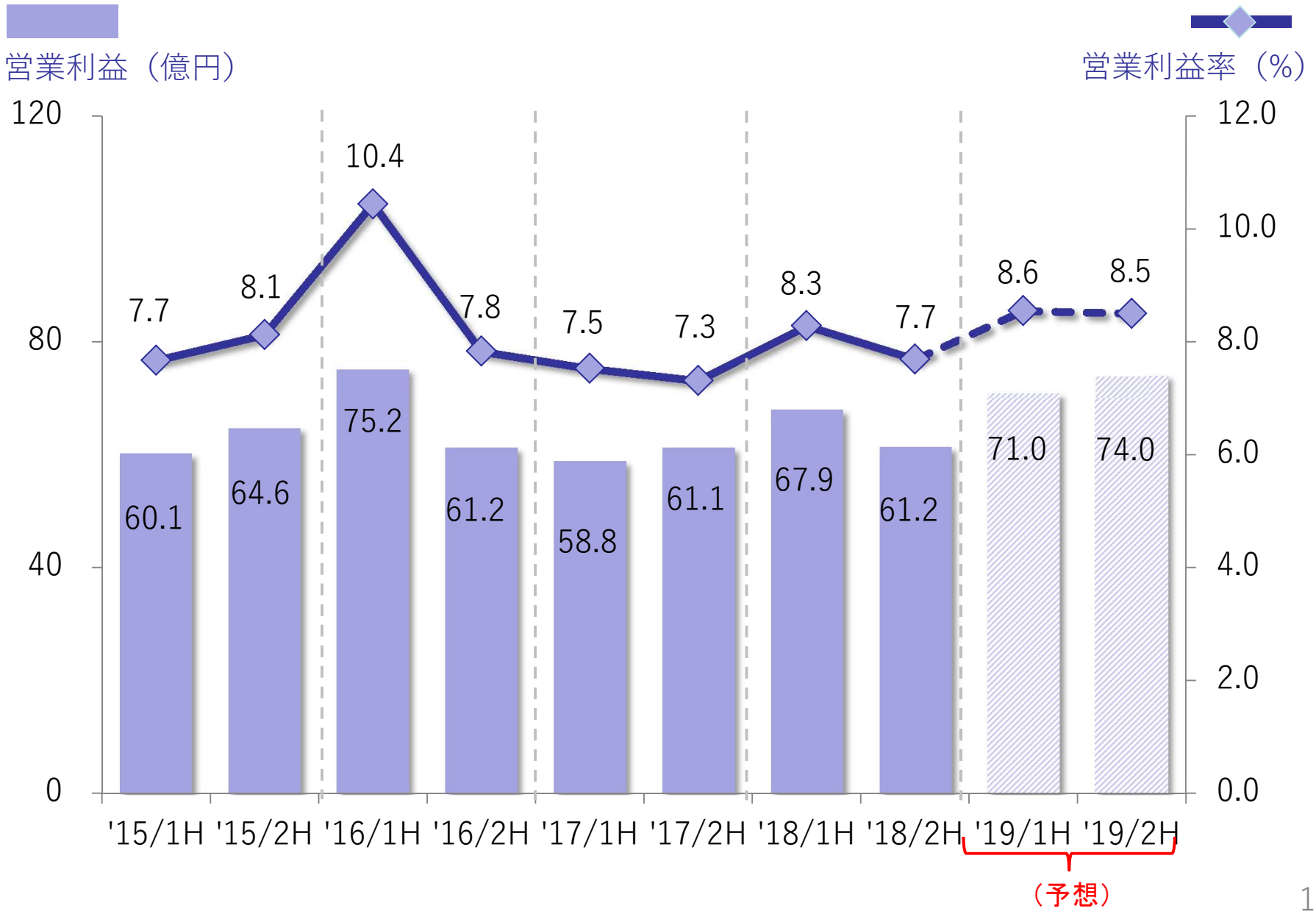
主要経営指標

	単位	’17年度	’18年度	前年度比
総資産	億円	1,991	1,936	▲55
総資産経常利益率	%	7.2	7.7	+0.5pt
自己資本	億円	1,300	1,293	▲7
自己資本比率	%	65.3	66.8	+1.5pt
自己資本当期純利益率	%	7.4	4.1	▲3.3
有利子負債	億円	105	119	13
負債資本倍率（D/Eレシオ）	倍	0.08	0.09	+0.01pt

連結業績の推移（半期）


売上高（億円）
経常利益（億円）
1,000
800
600
400
200
0
100
80
60
40
20
0
784
795
720
781
780
836
819
796
830
870
65.2
67.6
74.6
78.7
69.3
69.3
85.7
66.2
79.0
81.0
'15/1H
'15/2H
'16/1H
'16/2H
'17/1H
'17/2H
'18/1H
'18/2H
'19/1H
'19/2H
（予想）

連結営業利益（同率）の推移（半期）

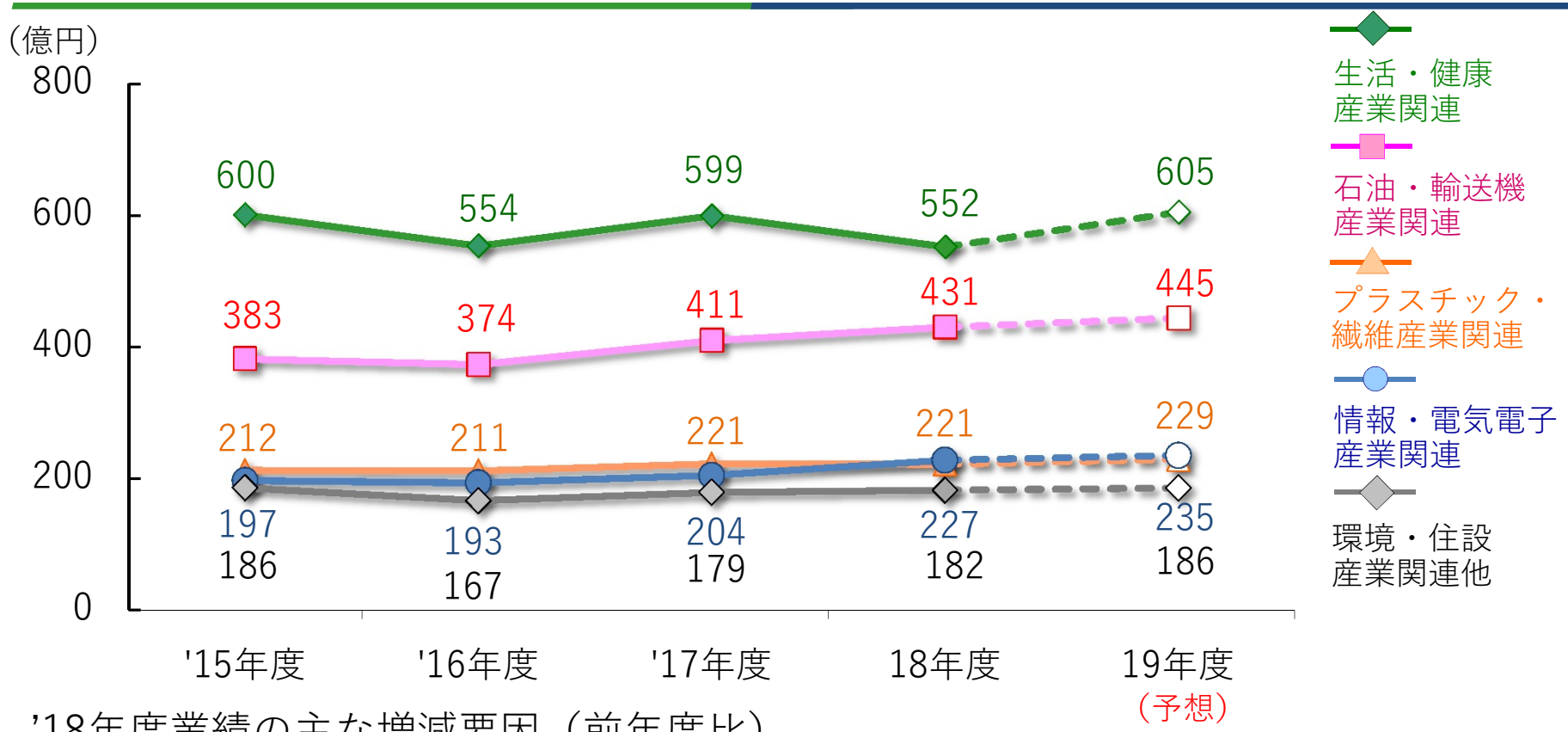


’18年度産業分野別業績

（億円）

産業分野	売上高			営業利益		
	’17年度	’18年度	増減額	’17年度	’18年度	増減額
生活・健康産業関連	599.5	552.9	▲46.5	11.3	11.7	0.4
生活産業関連	132.3	145.4	13.0			
健康産業関連	467.1	407.5	▲59.6			
石油・輸送機産業関連	411.1	431.0	19.9	27.1	30.5	3.3
プラスチック・繊維産業関連	221.9	221.6	▲0.2	39.6	33.8	▲5.7
プラスチック産業関連	151.2	153.8	2.5			
繊維産業関連	70.6	67.8	▲2.7			
情報・電気電子産業関連	204.8	227.6	22.7	32.0	40.0	7.9
情報産業関連	134.4	152.5	18.1			
電気電子産業関連	70.4	75.0	4.6			
環境・住設産業関連他	179.4	182.6	3.1	9.7	12.9	3.1
合計	1,616.9	1,615.9	▲0.9	119.9	129.1	9.2

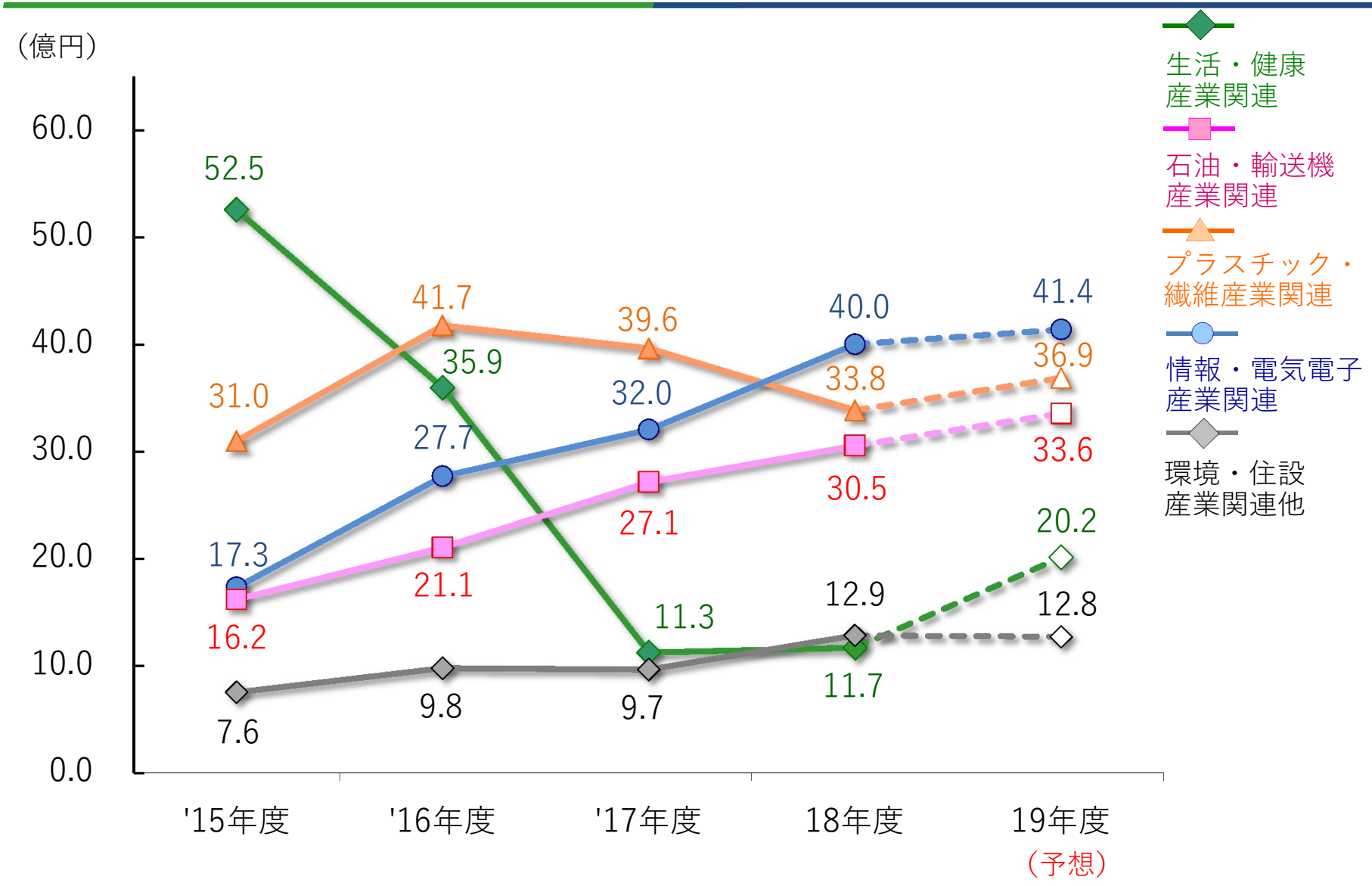
連結産業分野別売上高の推移



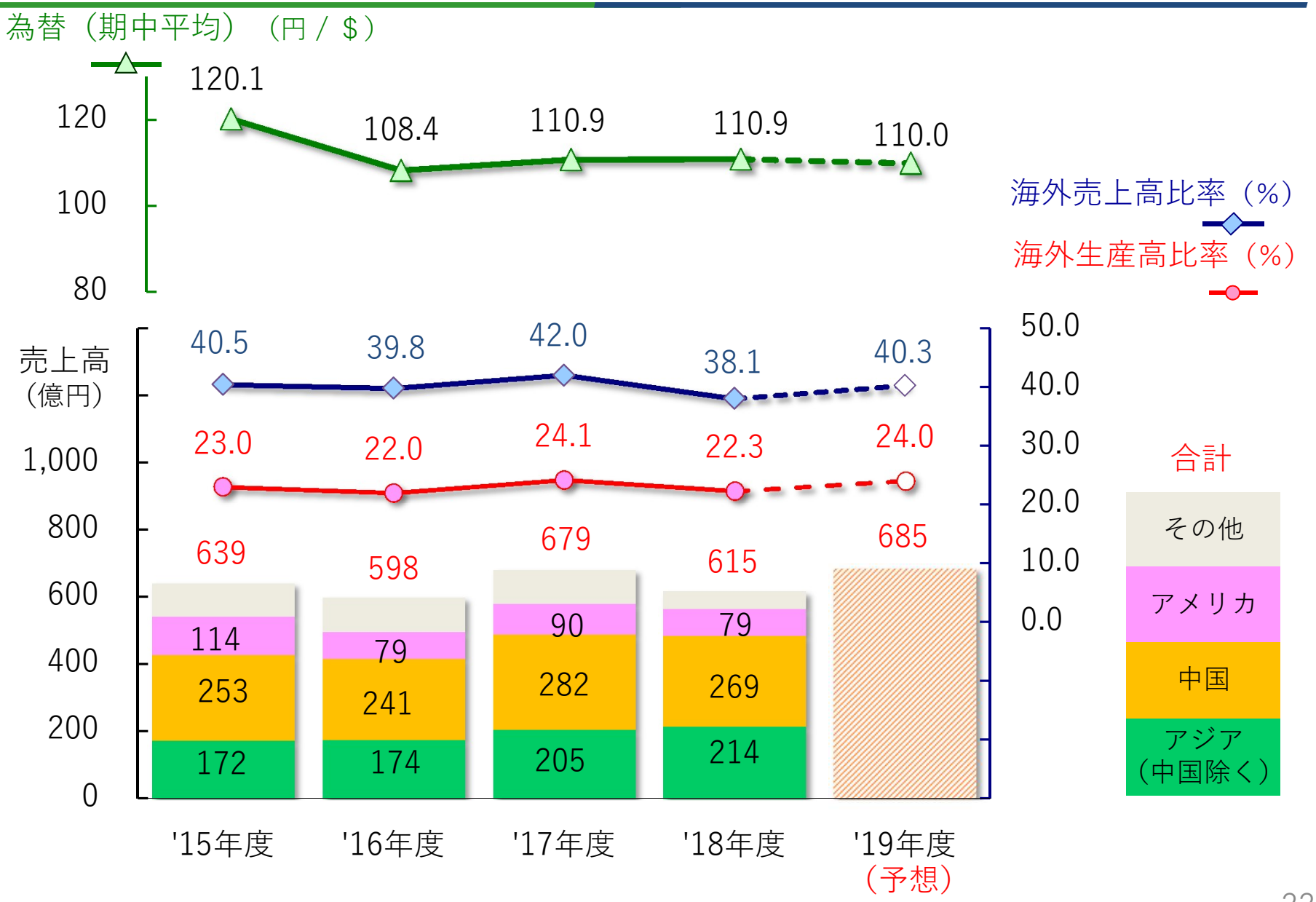
’18年度業績の主な増減要因（前年度比）

生活・健康	：PEGや液体洗濯洗剤用界面活性剤が好調。一方で、SAPの販売が大幅に減少し、減収
石油・輸送機	：TUB高機能品の採用車種増加、PPGや潤滑油添加剤も好調に推移し、増収
プラスチック・繊維	：永久帯電防止剤およびゴム・プラスチック用活性剤が堅調なものの、樹脂改質剤やタイヤコード用繊維油剤が低調であり、横ばい
情報・電気電子	：PEBが堅調であったことに加え、UV・EB硬化樹脂、電子材料用粘着剤が好調であったため、増収
環境・住設、他	：家具・断熱材用PPGの国内向けが好調であり、増収

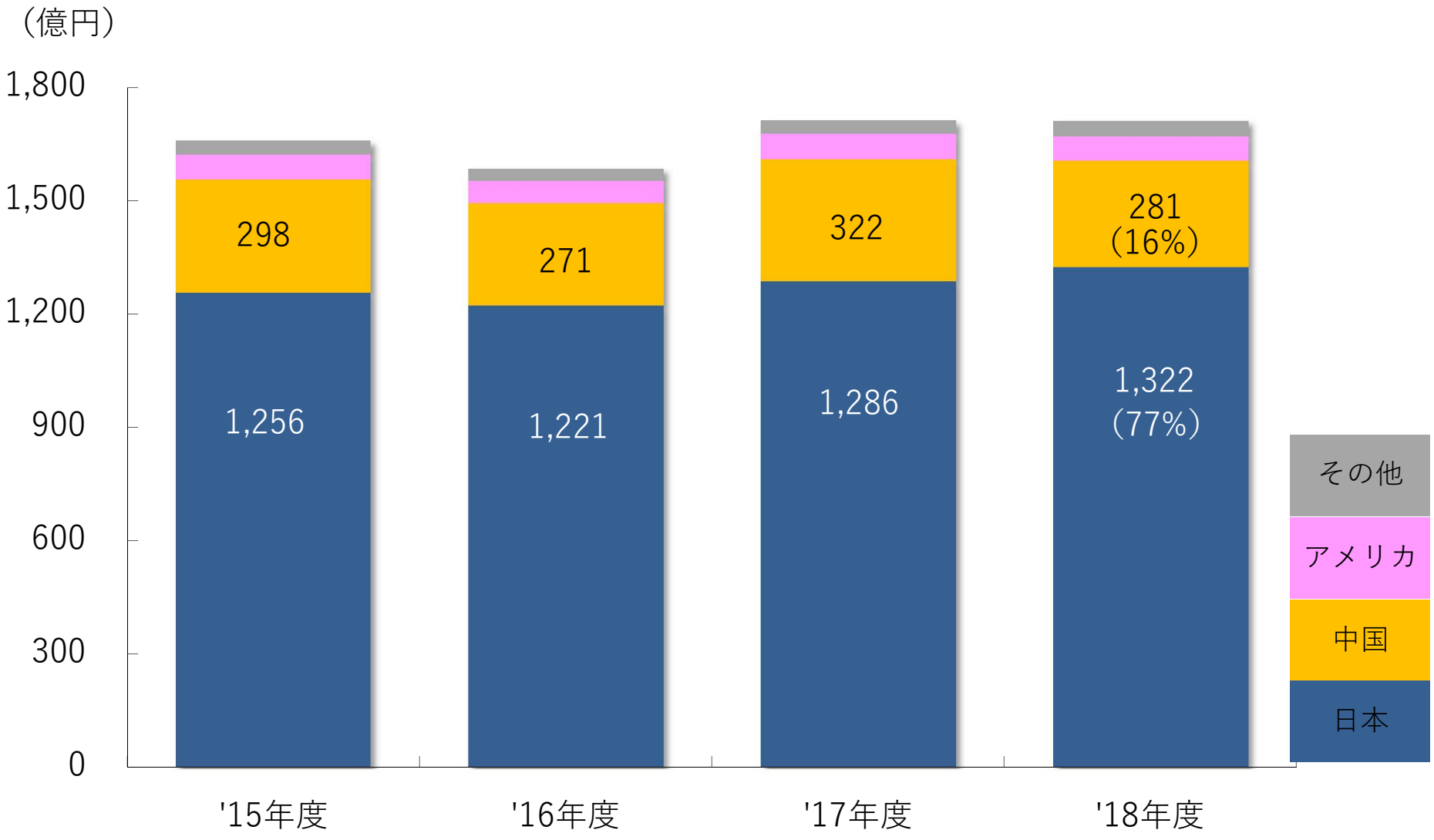
連結産業分野別営業利益の推移



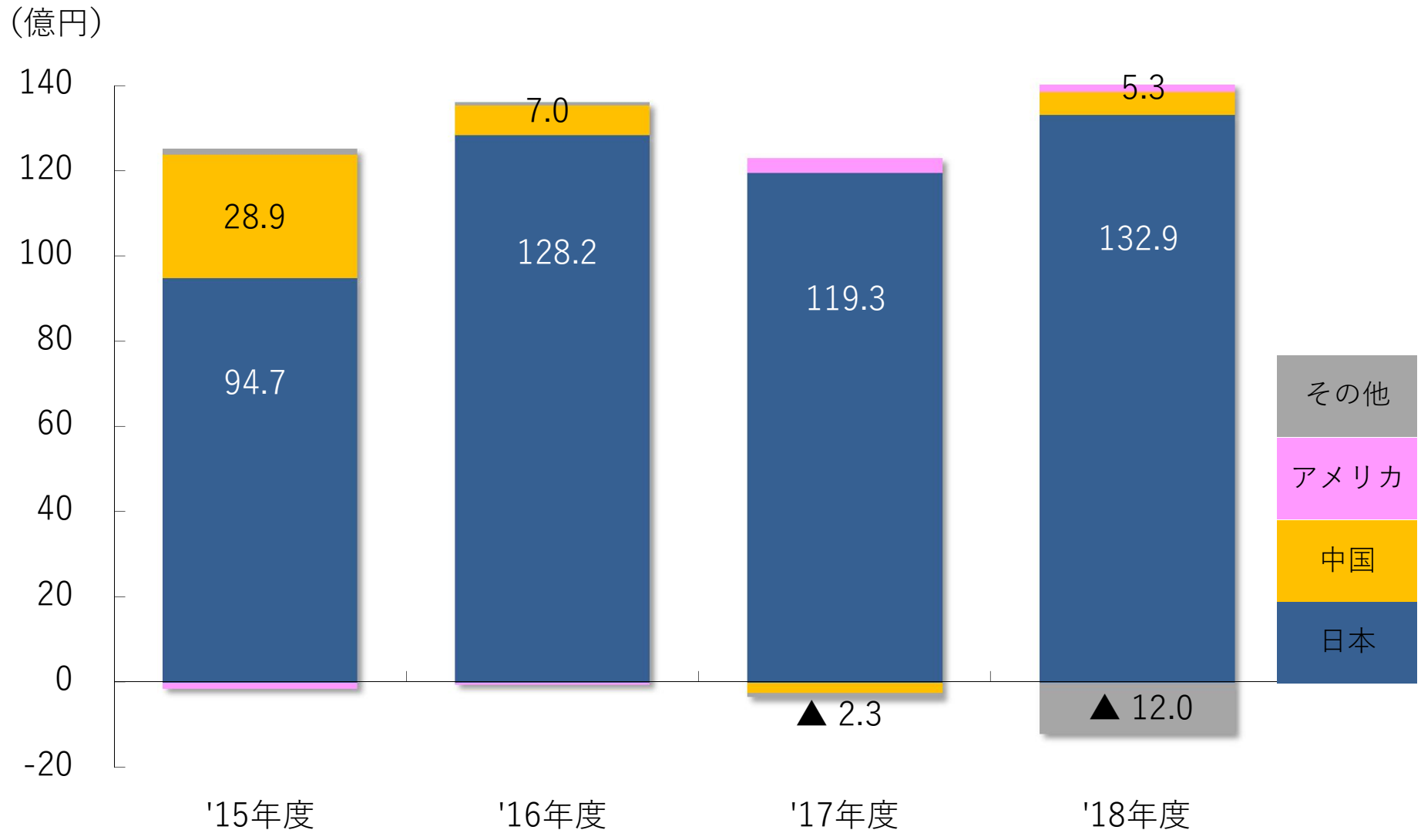
海外売上高の推移


為替（期中平均）（円 / $）
120.1
108.4
110.9
110.9
110.0
120
100
80
海外売上高比率（%）
海外生産高比率（%）
売上高
（億円）
40.5
39.8
42.0
38.1
40.3
23.0
22.0
24.1
22.3
24.0
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0.0
1,000
800
600
400
200
0
639
598
679
615
685
114
253
172
79
241
174
90
282
205
79
269
214
合計
その他
アメリカ
中国
アジア
（中国除く）
'15年度
'16年度
'17年度
'18年度
'19年度
（予想）

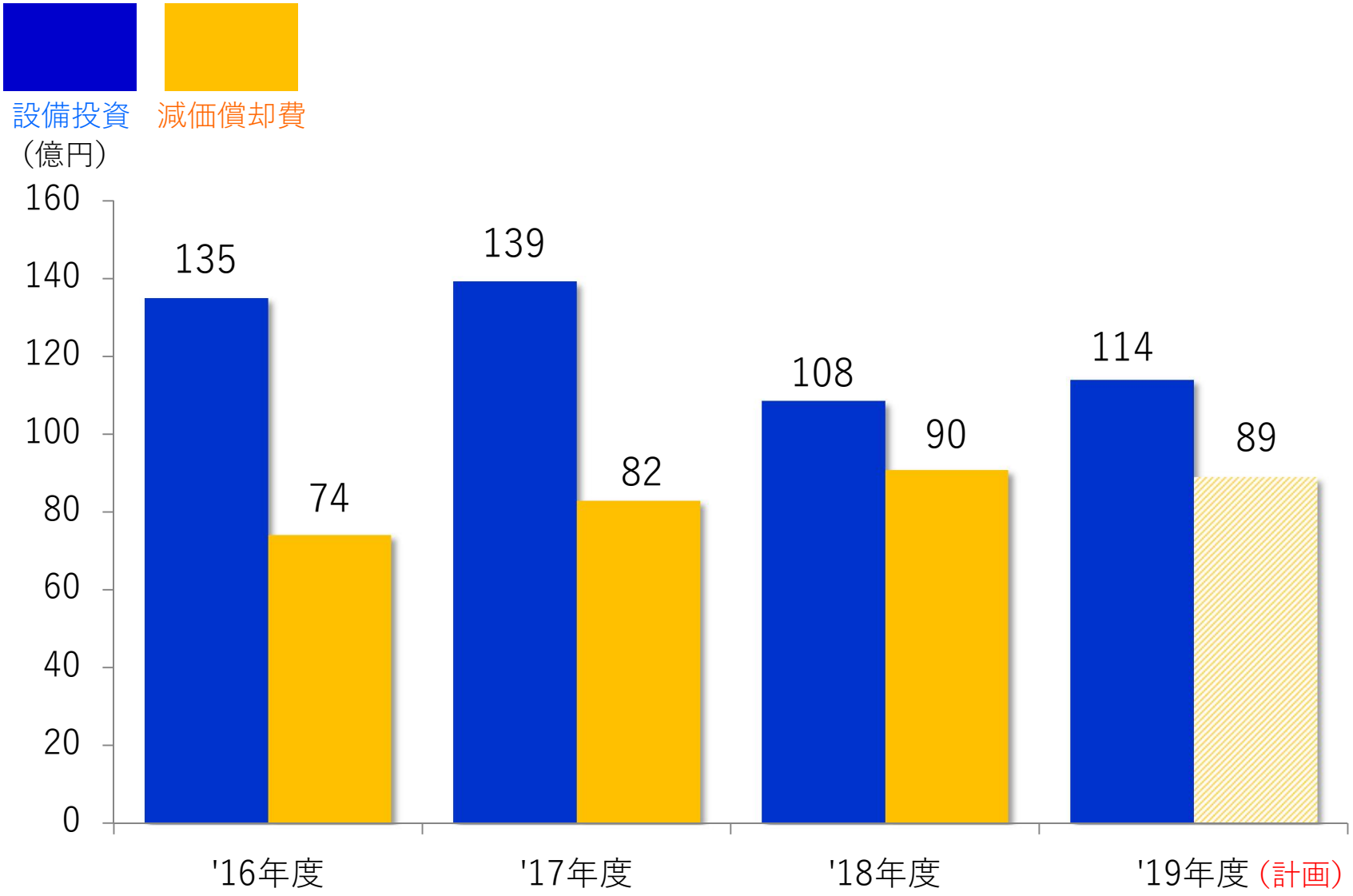
連結所在地別売上高の推移（単純合算）



連結所在地別営業利益の推移（単純合算）



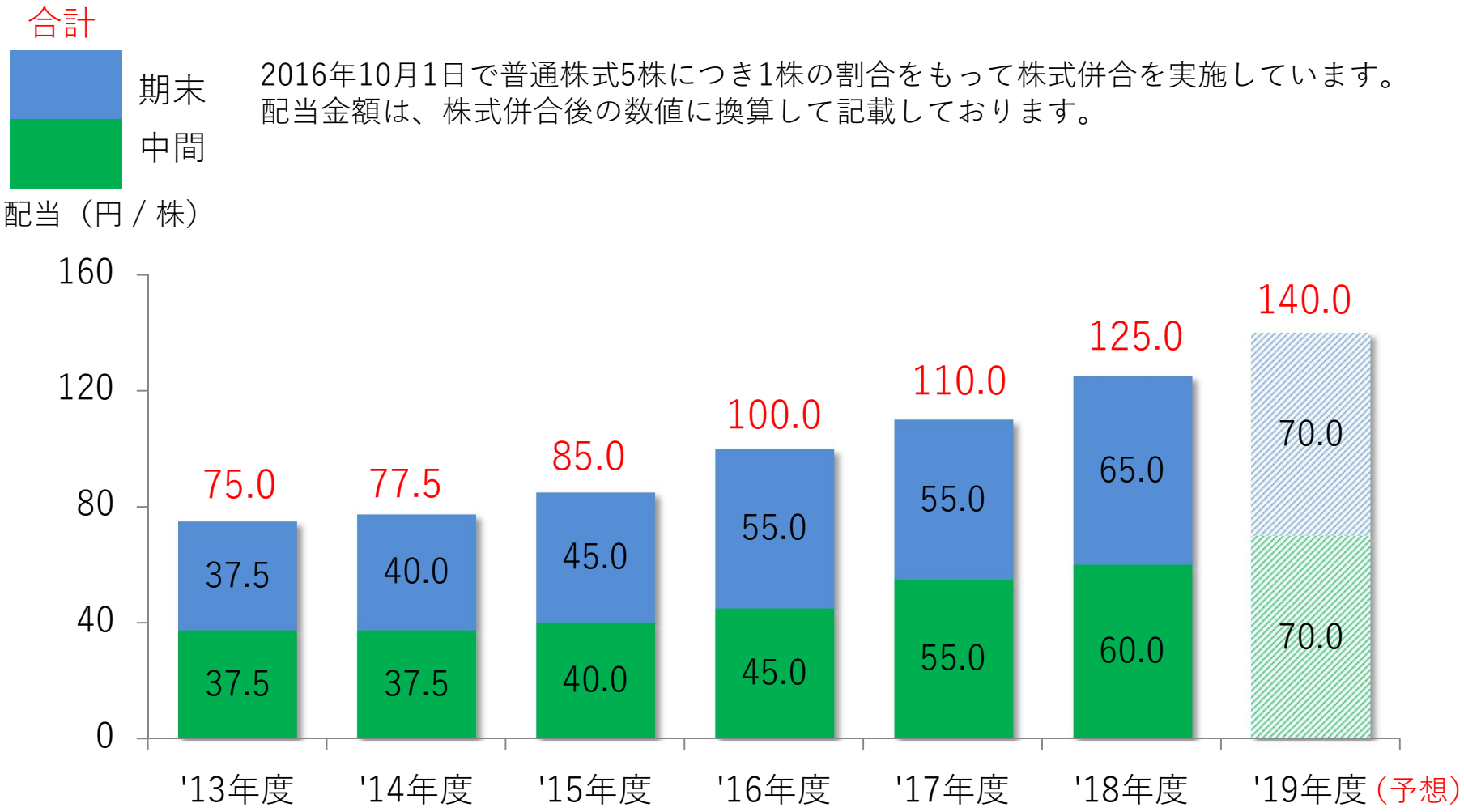
設備投資と減価償却費（連結）



‘16年度より、国内会社の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

1株あたり配当と配当性向の推移（連結）

2016年10月1日で普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しています。
配当金額は、株式併合後の数値に換算して記載しております。



	'13年度	'14年度	'15年度	'16年度	'17年度	'18年度	'19年度（予想）
配当性向（%）	33.6	29.1	27.1	21.6	26.2	51.5	29.4

トピックス：LiB Project

新型LiBの技術系ベンチャー企業（APB）に出資

慶応義塾大学堀江特任教授と共同で
LiB開発を加速
～全樹脂電池により電池業界に新しい風～

慶応義塾大学堀江特任教授

Emerging Tech
電子デバイス

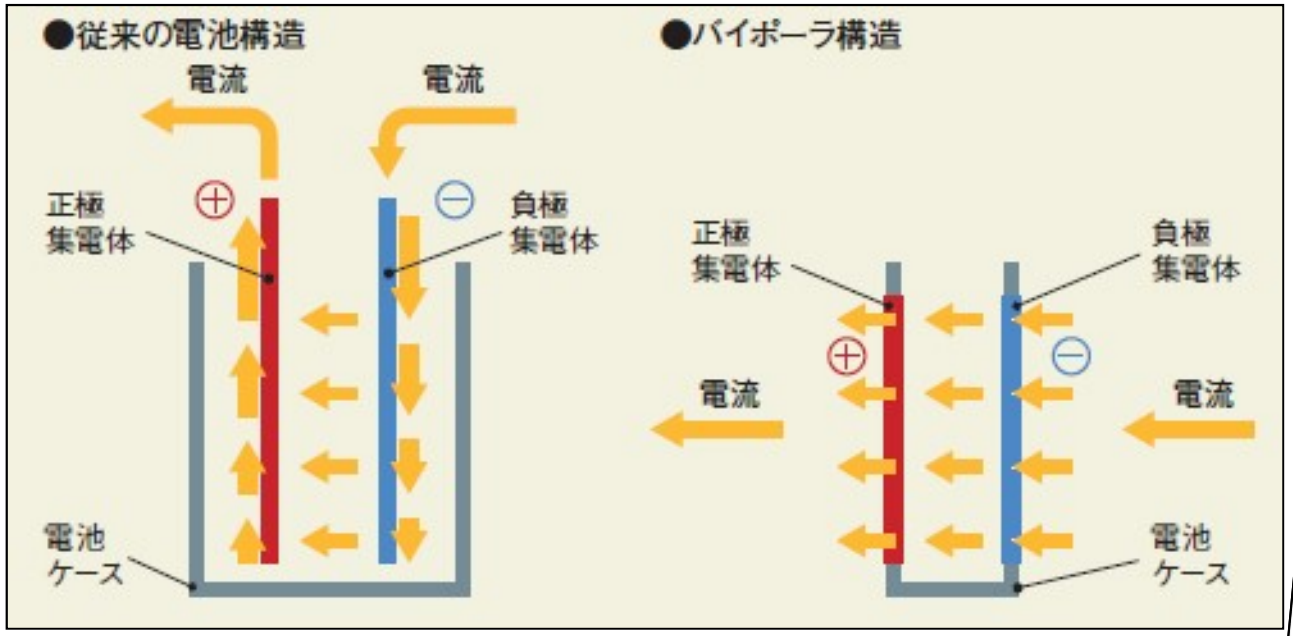
量産へ本腰の全樹脂電池
市場開拓し量産技術を確立へ
三洋化成が製造技術会社を傘下に

引用：日経エレクトロニクス2019.03号

トピックス：LiB Project

Sanyo Chemical

従来の電池構造とは異なるバイポーラ構造



Automotive Report

リチウムイオン電池に製造革新
三洋化成が"夢"のバイポーラ型に

当社LiBの特長

◆電極厚みを数倍以上に厚くでき、高電気容量化が期待できる

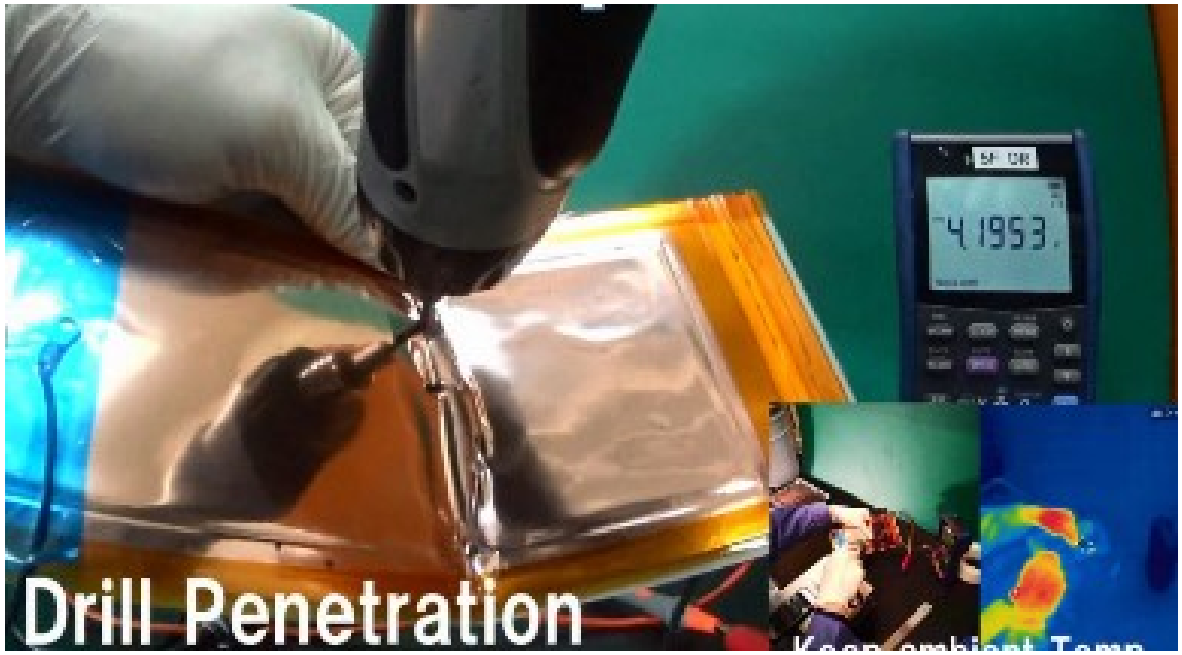
◆大きな容積を占めていた接続回路等の部品点数を大幅に削減

⇒コンパクトなリチウムイオン電池システム

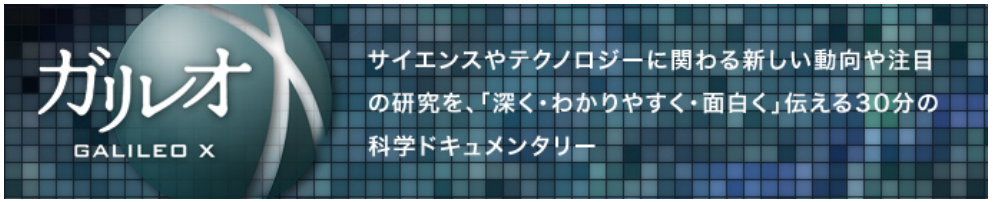
⇒部品に由来したトラブルリスクの低減も期待できる

引用：Nikkei Automotive
2017.11号

トピックス：LiB Project



ドリルで穴をあけても、
ハサミでカットしても
爆発しない



BSフジ『ガリレオX』で取り上げられました

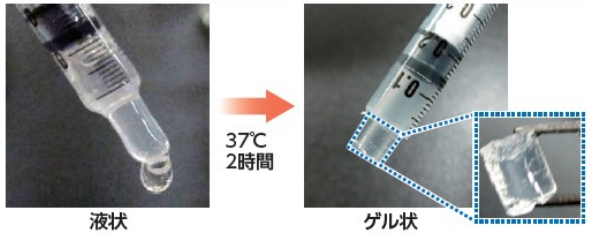
電池研究最前線
～次世代電池が起こすイノベーション～

トピックス：バイオ・メディカル

機能性タンパク質～シルクエラスチン～

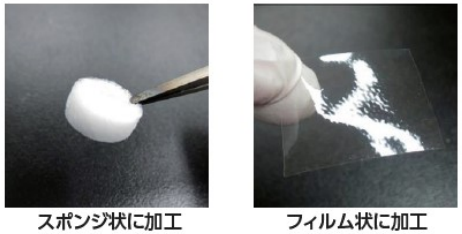
天然由来のタンパク質であるエラスチンとシルクフィブロインを模倣した
遺伝子組み換え人工タンパク質
⇒創傷治癒材や半月板損傷治療材として用途展開を目指す

シルクエラスチンの感温ゲル化性



シルクエラスチン水溶液は、体温程度に加温することで、
シルクエラスチン同士が自己会合してゲル化します。

シルクエラスチンの材形加工性

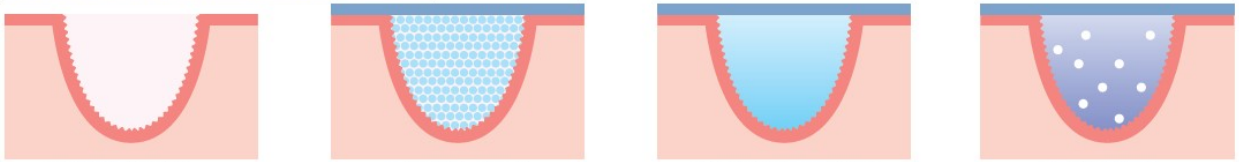


シルクエラスチンは、当社界面制御技術との
組み合わせによって、様々な形状に加工が可能です。

用途展開例〈創傷治癒材〉

- シルクエラスチンの用途展開例のひとつとして、創傷治癒材を開発中。
- 動物実験にて高い創傷治癒効果を確認済。
- 2018年2月から京都大学病院にて医師主導治験を実施中。

シルクエラスチンスポンジによる創傷治癒



①皮膚の傷（床ずれ、糖尿病性、火傷など）
②シルクエラスチンスポンジ投与
③体液により溶解・ゲル化（投与後5～6時間）
④創傷治癒促進（細胞の足場）

シルクエラスチンは、傷の被膜に用いると、創傷治癒効果（肉芽形成促進効果）が高く、かつ、細菌増殖抑制効果も認められています。

以下の公的研究助成金制度にご支援をいただき進めています。
2014年2月～2015年1月：独立行政法人科学技術振興機構（JST）の研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）
2016年10月～：国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の産学連携医療イノベーション創出プログラム（ACT-M）

トピックス：Coffret Project

界面制御技術をはじめとしたさまざまなコア技術を
もとに、市場トレンド・ニーズを独自に翻訳し、
魅力的なソリューション（素材・処方）を提案

⇒スキンケアを中心とする化粧品分野への価値提案

また、女子プロゴルファー セキ ユウティン選手、
セキ ユウリ選手と契約し、中国でのPR活動も強化

専門的なソリューション提案　　魅力ある価値提案

Sanyo Chemical → お客様 → 消費者

既存技術の融合・強化
新技術導入

（化粧品本舗
OEM/ODM メーカー）

安全性・高品質

新たな取り組み

市場ニーズ、トレンド

トピックス：TBM社へ出資

Sanyo Chemical

石灰石を主原料とし、従来の紙と異なり水や木材パルプを使用せず、
プラスチック代替としては石油由来原料の使用量を抑える新素材
環境負荷低減につながるＬＩＭＥＸのコンセプトに賛同し、
共同開発をスタート

LIMEX（ライメックス）とは

石灰石を主原料とし、紙・プラスチックの代替となり、
持続可能な社会に貢献する日本発の新素材

- LIMEX 三つの特徴 -

- 主原料は石灰石-

主原料（50%以上含む）となる石灰石は世界にほぼ無尽蔵に存在、日本においても自給率100%を超え、安価に入手可能な鉱物資源

- 資源枯渇問題へ貢献 -

水や木をほぼ使用することなく紙代替製品、石油由来成分を抑えプラスチック代替製品を製造可能

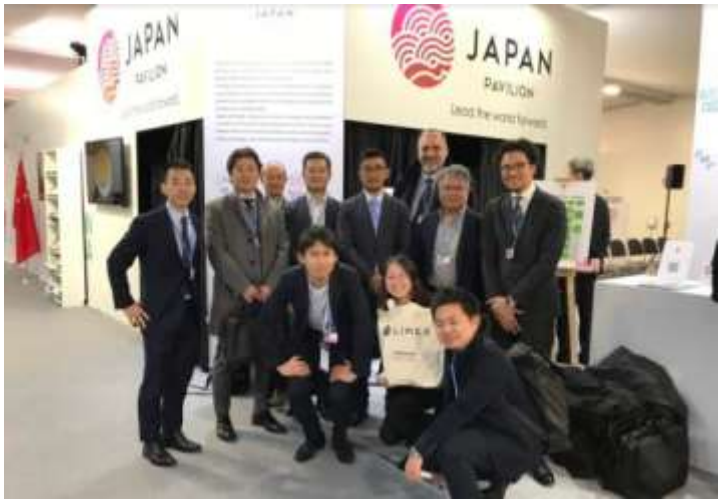
- 環境問題へ貢献 -

・二酸化炭素の発生を抑え、気候変動の抑制に貢献
・循環・再利用し続けることでゴミを減らしマイクロプラスチック問題へ貢献

トピックス：TBM社へ出資

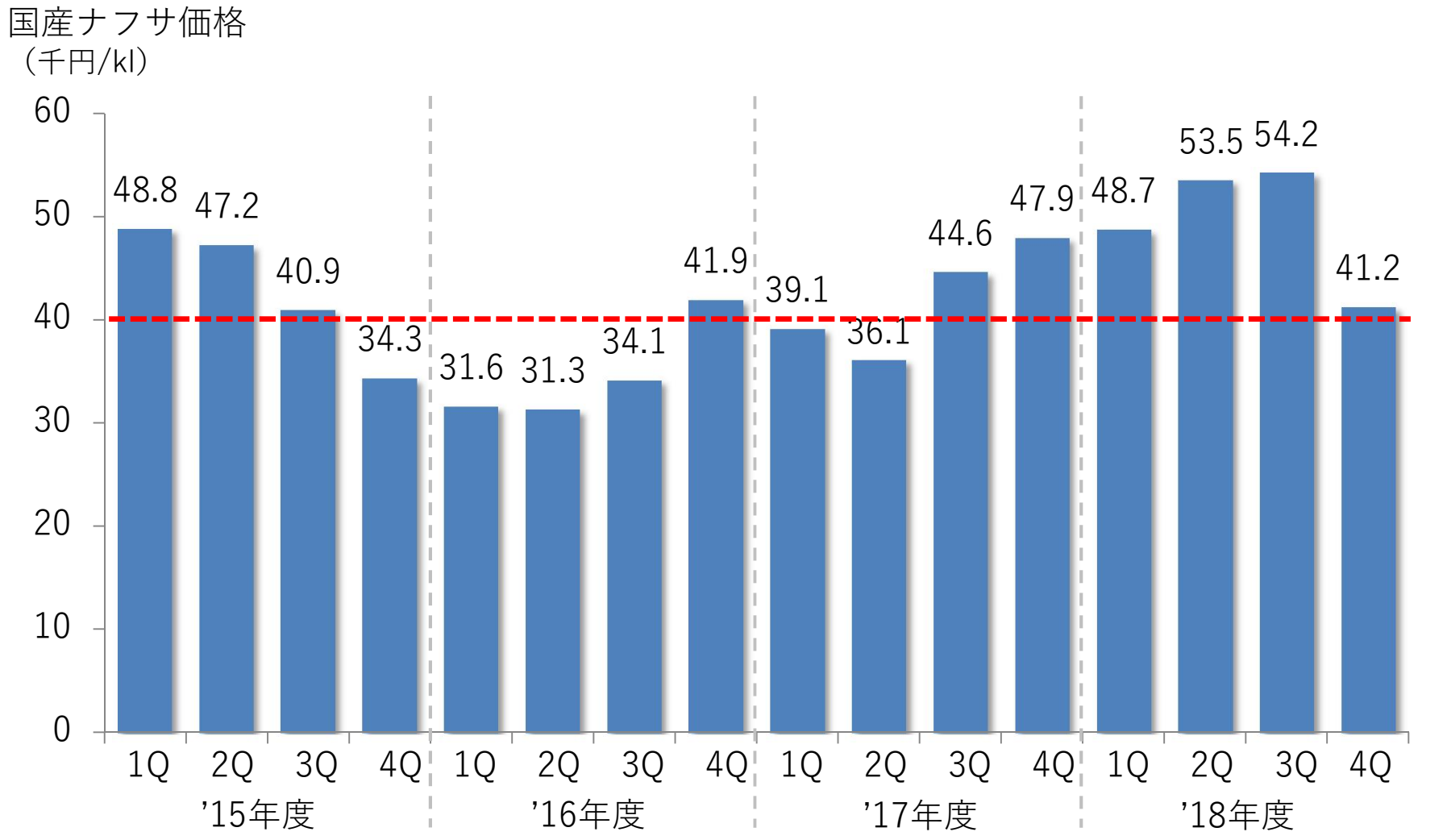
LIMEX名刺

当社はＴＢＭ社に対し次世代のＬＩＭＥＸ(車用、強度アップなど)の開発に相溶化技術によって開発をバックアップすべくアクション中



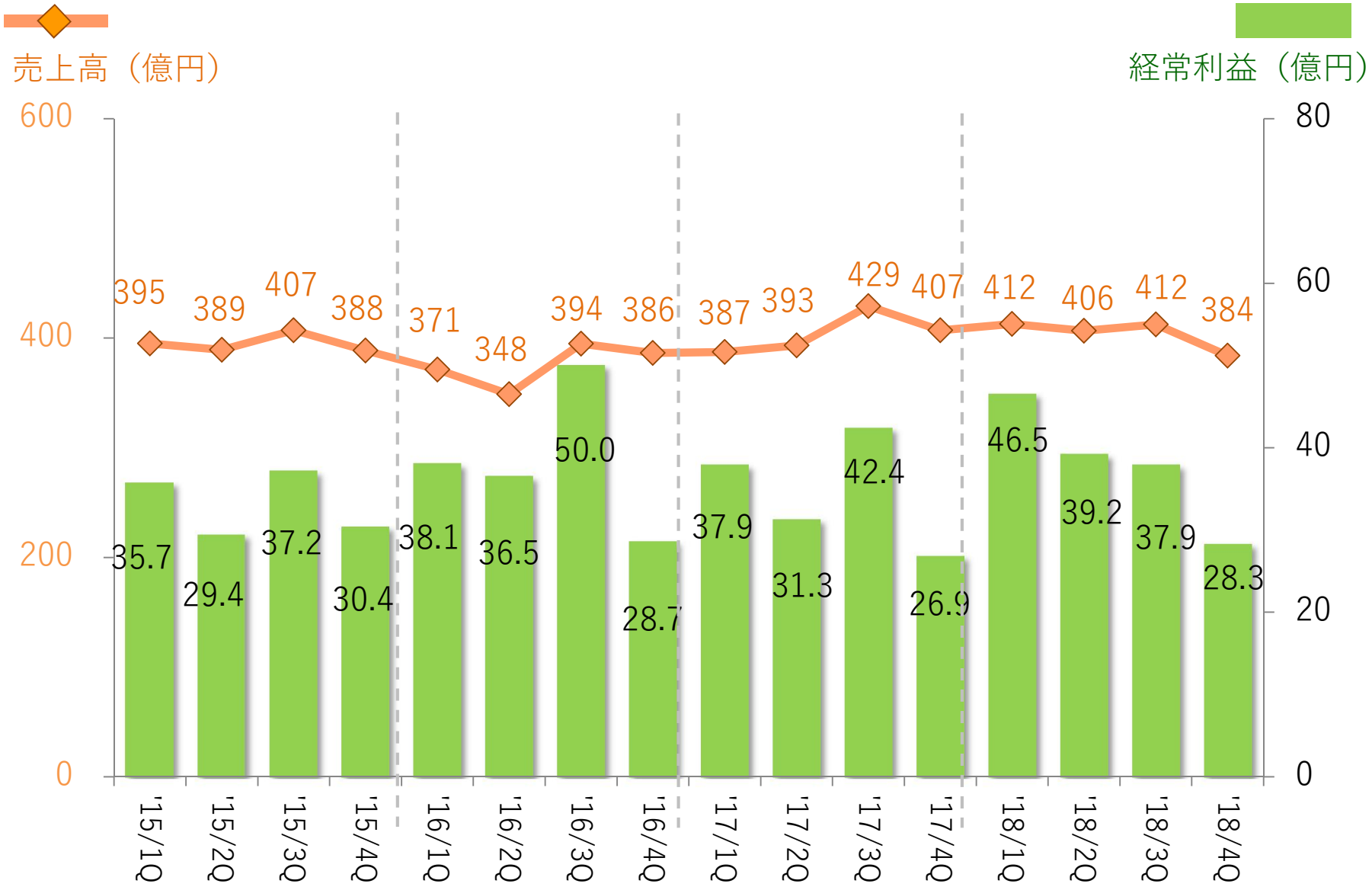
参考資料

国産ナフサ価格の推移

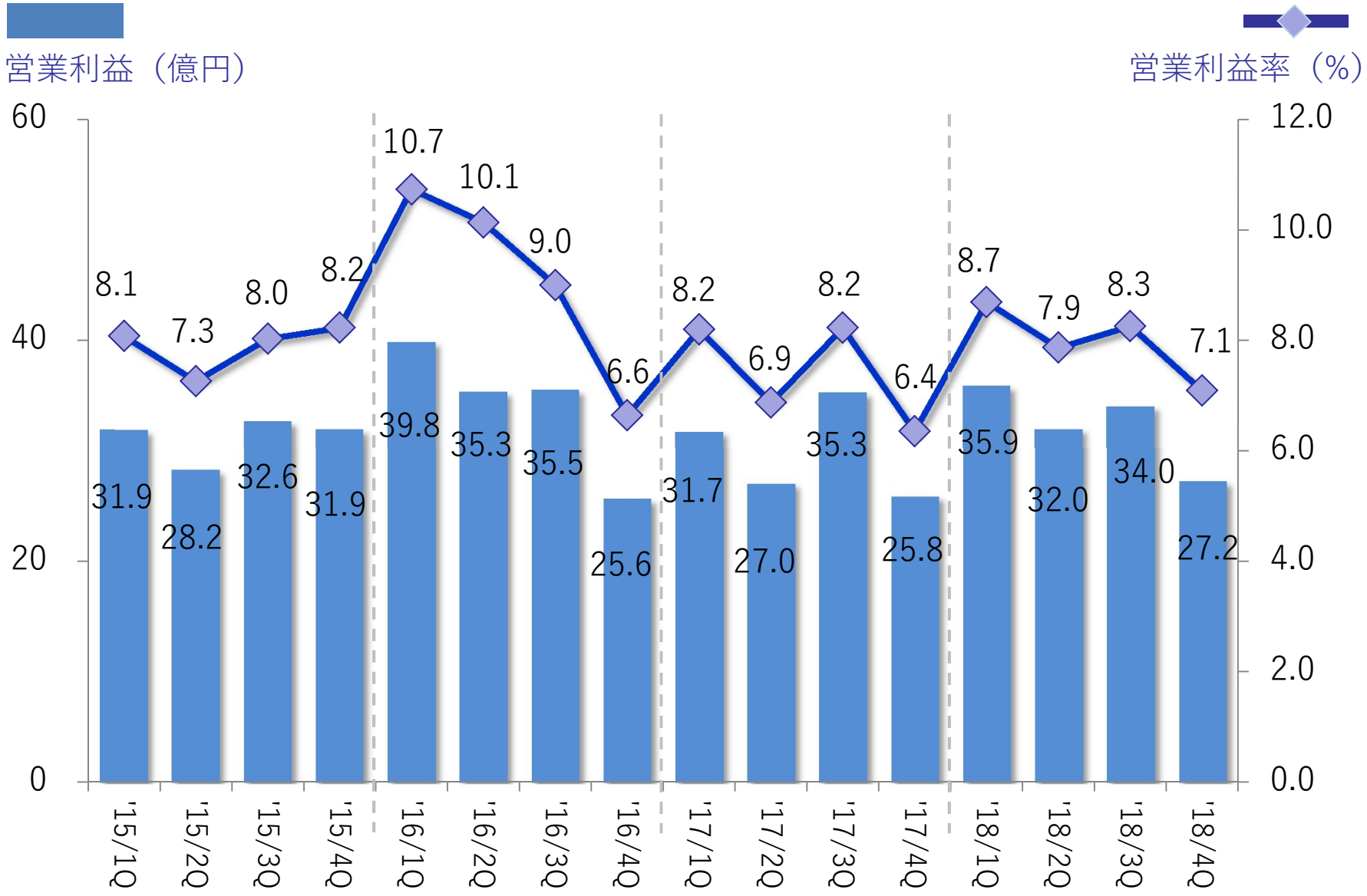


（新聞各紙より、当社調べ）

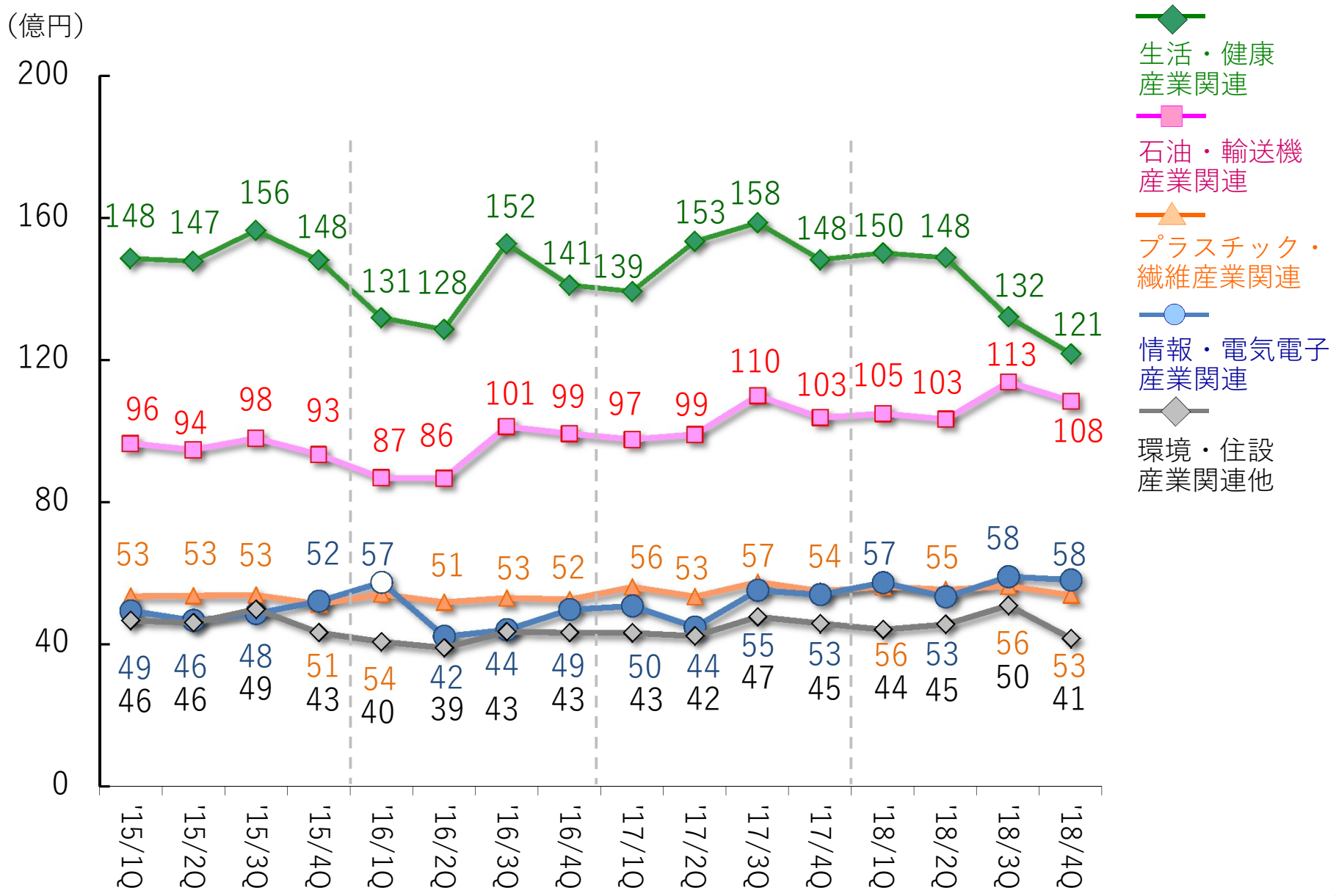
連結業績の推移（四半期）


売上高（億円）
経常利益（億円）
600
400
200
0
80
60
40
20
0
395
389
407
388
371
348
394
386
387
393
429
407
412
406
412
384
35.7
29.4
37.2
30.4
38.1
36.5
50.0
28.7
37.9
31.3
42.4
26.9
46.5
39.2
37.9
28.3
'15/1Q
'15/2Q
'15/3Q
'15/4Q
'16/1Q
'16/2Q
'16/3Q
'16/4Q
'17/1Q
'17/2Q
'17/3Q
'17/4Q
'18/1Q
'18/2Q
'18/3Q
'18/4Q

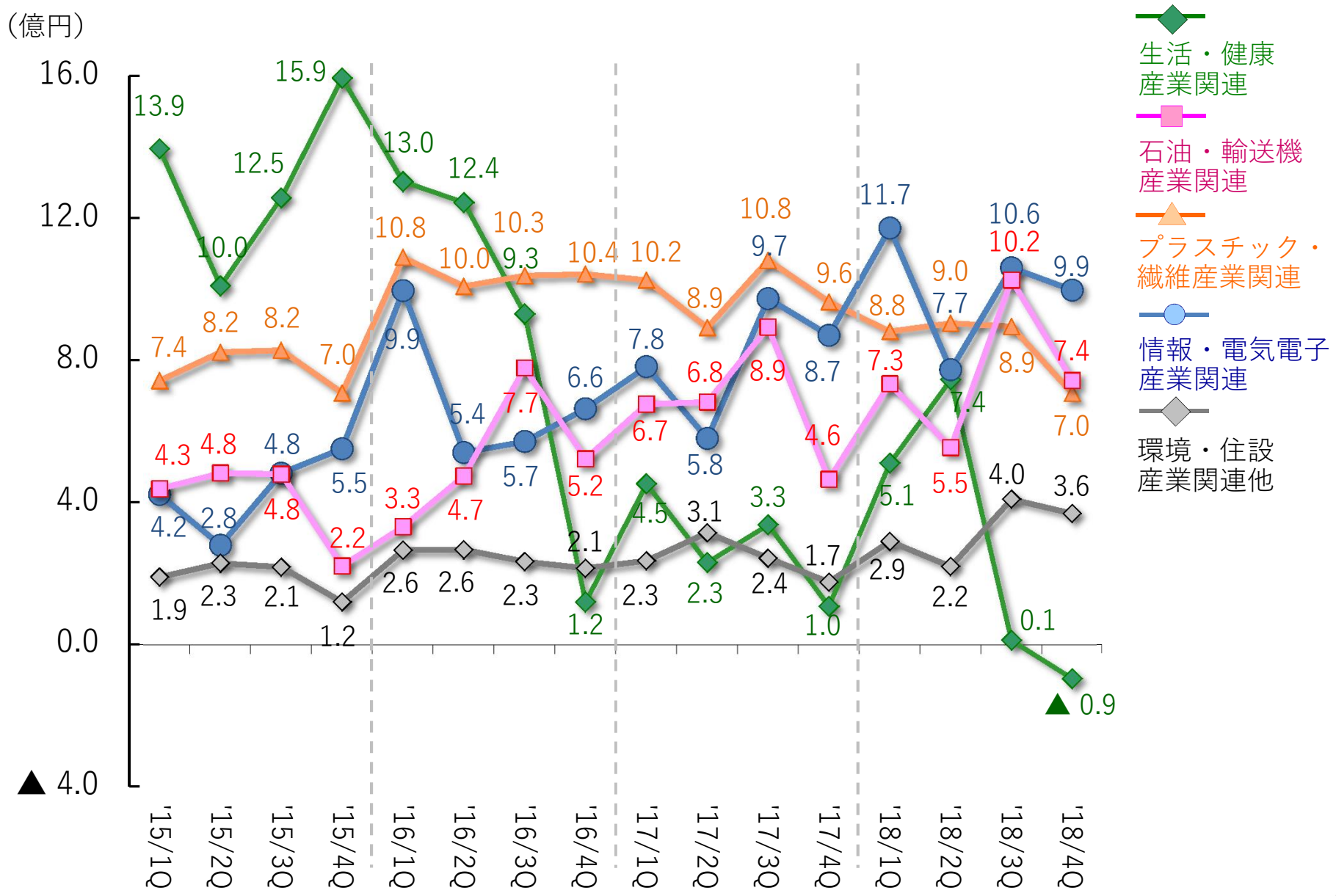
連結営業利益（同率）の推移（四半期）



連結産業分野別売上高の推移（四半期）



連結産業分野別営業利益の推移（四半期）



国内連結子会社（5社）

会社名	略号	議決権所有割合	事業内容
SDPグローバル㈱	SDP	三洋化成工業㈱ 70％ 豊田通商㈱ 30％	高吸水性樹脂の製造販売
サンノプコ㈱	SNL	三洋化成工業㈱ 100％	紙・パルプ薬剤、塗料用薬剤、 各種工業用薬剤等の製造販売
サンケミカル㈱	SCC	三洋化成工業㈱ 50％ JXTGｴﾈﾙｷﾞｰ㈱ 50％	ポリウレタンフォーム用原料等の製造
サンアプロ㈱	SA	三洋化成工業㈱ 50％ ｴﾎﾞﾆｯｸ･ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ B.V. 50％	エポキシ樹脂硬化促進剤、 ウレタン化反応触媒等の製造販売
三洋運輸㈱	三運	三洋化成工業㈱ 100％	運送業

海外連結子会社（8社）

会社名	所在国	略号	議決権所有割合		事業内容
三洋化成精細化学品（南通）有限公司	中国	SKN	三洋化成工業㈱	100%	界面活性剤、ウレタン樹脂等の製造
三大雅精細化学品（南通）有限公司	中国	SDN	SDPグローバル㈱	100%	高吸水性樹脂の製造販売
三洋化成（上海）貿易有限公司	中国	SCST	三洋化成工業㈱	100%	界面活性剤、ウレタン樹脂等の販売
Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.	タイ	SKT	三洋化成工業㈱ 豊田通商㈱ほか	89% 11%	界面活性剤、ウレタン樹脂等の製造販売
SANAM Corporation	米国	SANAM	三洋化成工業㈱	100%	米国子会社の統括会社、潤滑油添加剤、ウレタンビーズ等の販売
Sanyo Chemical & Resins, LLC	米国	SCR	SANAM Corporation	100%	潤滑油添加剤の製造
Sanyo Chemical Texas Industries, LLC	米国	SCTI	SANAM Corporation	100%	ウレタンビーズの製造
SDP GLOBAL (MALAYSIA) SDN.BHD.	マレーシア	SDPM	SDPグローバル㈱	100%	高吸水性樹脂の製造販売

持分法適用会社（5社）

会社名	略号	議決権所有割合	事業内容
㈱サン・ペトロケミカル	SPCC	三洋化成工業㈱ 50% JXTGｴﾈﾙｷﾞｰ㈱ 50%	合成ゴム原料の製造
Sunrise Chemical LLC ［米国］	SRC	SANAM Corp. 50% JX･ﾆｯﾎﾟﾝ･ｹﾐｶﾙ･ﾃｷｻｽ 50%	合成ゴム原料の製造
名古屋三洋倉庫㈱	名三倉	三洋化成工業㈱ 100%	倉庫業
塩浜ケミカル倉庫㈱	塩ケミ	三洋化成工業㈱ 50% JXTGｴﾈﾙｷﾞｰ㈱ 50%	倉庫業
㈱サンリビング	SL	三洋化成工業㈱ 100%	不動産、保険代理業